

神宗即位、召赴^ク闕^ク。公既至、未^レ見^ル。有^リ於^ニ上^ニ。前^ニ言^フ災異、皆^ハ天^ノ數^{ナリ}、非^ズ人^ノ事^{ナリ}。得^ル失^ル、所^レ致^ス者^{ナリ}。公聞^{キテ}之^ヲ、嘆^{ジテ}曰^{ハク}、人君^ノ所^レ畏^ルル^カ、惟^ダ天^ノ。若^シ不^レ畏^レ天^ヲ、何^カ事^カ不^レ可^カ為^ス者^{ナリ}。去^リ乱^ヲ、無^レ幾^モ矣^{ナリ}。此^レ必^ズ姦^臣欲^シ進^メ邪^ノ說^ヲ、故^ニ先^ツ導^{クニ}上^ヲ、以^テ無^レ所^レ畏^ル、使^シ輔^ト諫^争之^ヲ。臣^{ラシテ}無^レ所^レ復^タ施^ス其^ノ力^ヲ。此^レ治^ル乱^ノ之^ノ機^也。吾^ハ不^レ可^カ以^テ不^レ速^ニ救^ム。即^チ上^ス書^ス數^ニ千^ノ言^ヲ、雜^シ引^{キテ}春^秋・洪^範及^ビ古^ノ今^ノ、伝^ヘ記^シ人^ノ情^ヲ、物^ノ理^ヲ、以^テ明^ラ其^ノ決^{シテ}不^レ然^ラ者^ノ。

(宋名臣言行録)

- (語注) *神宗——北宋の第六代皇帝。
 *闕——宮中。
 *公——富弼。北宋朝に仕えた。
 *天數——自然のなりゆき。
 *輔弘諫争——天子を補佐することと、強く諫めること。
 *春秋——書名。魯国の歴史書。
 *洪範——『書経』の編の名前。

句法の確認 漢文特有の表現を覚える
 使役を暗示する動詞
 ①口語訳を参考にして、次の文を書き下し文にせよ。(1点)
 ともかく親友に頼んでこれを書かせ、
 聊^{イタカ}命^ミ故人^ノ書^セ之^ヲ。(陶淵明「飲酒序」)

②「遣」には助字「シム」と、動詞「つかハス」の読み方がある。次の文に、返り点に従って送り仮名をつけよ。(1点×2)
 (*解は人名)
 a 解^{シム}遣^{ハス}人^ヲ問^フ其^ノ名^ヲ姓^ヲ。
 b 解^{シム}遣^{ハス}人^ヲ問^フ其^ノ名^ヲ姓^ヲ。(史記)

文脈から読み取る使役
 ③口語訳を参考にして、次の□に送り仮名を書け。(1点×2)
 a その騎兵を分けて四隊とし、四方へ向かわせた。
 分^{カケ}其^ノ騎^ヲ以^テ為^シ四^ノ隊^ト、四^ノ嚮^ニ。
 b 四^ノ岳^ノ擧^ゲ舜^ヲ、撰^シ行^ハ天^ノ下^ノ事^ヲ。(十八史略)

読解問題

場面をおぼえよ。 次の文の「」に、適当な言葉を書き入れよ。(1点×4)
 「」が即位したとき、「」は皆天數だと説く者がいた。「」はこれを聞いて「」。

問一 ことば——線 a・b の読みを書け。(1点×2)

a	え	も
b		

問二 ことば——線 A・B の意味を、それぞれ次から選べ。(1点×2)
 A ア 忠実な臣下 イ 邪悪な臣下
 B ア けはい イ たくらみ
 ウ 老齢の臣下 エ 若輩の臣下
 ウ 分かれ目 エ しかけ

問三 句法——線1を書き下し文にせよ。(3点)
 問四 文脈——線2の発言はどこまでか。最後の三字を書け。(3点)

問五 句法——線3を口語訳せよ。(5点)

問六 内容——線4とは、だれがどうすることを表すか。簡潔に説明せよ。(6点)

問七 句法——線5の口語訳として最も適当なものを選び、次から選べ。(4点)
 ア わたしは速やかに道を誤ろうとしている
 イ わたしは急には道を誤ろうとしている
 ウ わたしは急いで間違った臣下を救わなければならない
 エ わたしはすぐには間違った臣下を救うことはできない

問八 文脈——線6は、文中のどの部分を指しているか。文中から十五字以内で抜き出し、最初と最後の三字を書け。(4点)

問九 主題——「公」が最も主張したかったことは何か。次から選べ。(6点)
 ア 天変地異はみな自然のなりゆきによるものだ。
 イ 臣下にその力量を十分に発揮させねばならない。
 ウ 天子は天を畏敬して行動しなければならぬ。
 エ 政治にとって過去の記録はたいへん役に立つ。

重要漢字の確認 漢字の多義性に注意する
 若——線部の読みを送り仮名も含めて現代仮名遣いで書け。また、その意味を下から選べ。(完答で2点×3)

① 知^ル子^ヲ莫^シ若^{クハ}父^ニ。(管子)
 ② 旁^カ若^{クニ}無^キ人^ノ者^{ナリ}。(史記)
 ③ 若^シ不^レ畏^レ天^ヲ。(本文3行目)

句法の確認	5
読解場面	4
ことば	4
句法	12
文脈・内容	13
主題	6
漢字	6
合計	50